

中学・高校生～

2025年6月 no.94

よんでネット*

2025

夏号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会



集英社[913.6ア]

雨の降る日は学校に行かない 相沢沙呼

中学では保健室登校のナツとサエだが、サエは急に教室に戻ってしまう。裏切者!とナツは思ったが、それはクラスのカーストから転げ落ちて教室に行けなくなったサエが、転校する前にした小さな抵抗だった…。「学校」という狭い世界に息苦しさを感じたら読んでほしい6つの物語。

消え失せた密画 エーリヒ・ケストナー 小松太郎訳 (中公文庫)

肉屋の気のいい親方キュルツは、「急にどうにも、やりきれなくなって」旅に出た。そこで美しい女性から古くて高価な密画(小さな絵)を運ぶ手伝いを頼まれる。その密画は窃盗団にねらわれていた。謎の美青年も登場するが敵か味方かわからない。キュルツは密画を守れるか?



中央公論新社
[B943ケ]



SEISEISHA[468サ]

湘南波の下水族館 佐藤輝 鍵井靖章

目の前に広がる湘南の海、波の下にはどんな世界が広がっているのでしょうか? 「湘南オールスターズ」「あやしく光って見えるものたち」「海の中のお花畑」

小さくてカラフルな生きものたちの、生命の輝きに目を見張ります。ようこそ! 波の下の世界へ。



評論社
[E・絵本のコーナー]

ヒナゲシの野原で ー戦火をくぐりぬけたある家族の物語ー

マイケル・モーパーゴ作 マイケル・フォアマン絵 佐藤見果夢訳

赤いヒナゲシが咲くフランダースの野原。第一次世界大戦で激戦地だったこの場所では、今も不発弾や兵士の持ち物が見つかる。近くに住むメルケル一家に代々受け継がれた宝物。それは、兵士の詩が記された一枚の紙きれ。人々と戦争との関わりが描かれる物語。

ジュニア版 キリン解剖記

キリンの首の骨が教えてくれたこと
郡司芽久 著

この本には、「生きているキリンはほとんど登場しません。」となったキリンの体を調べることで解き明かされた“進化の秘密”とは？キリン好きな子にもだった郡司さんがキリンに関わる仕事につきたいと思い飛び込んだ解剖の世界を分かりやすく伝えてくれます。



ナツメ社 [48グ]

アフェイリア国とメイドと最高のウソ

ジェラルディン・マコックラン著 大谷真弓訳

大洪水に襲われたアフェイリア国。最高指導者のマダム・スプリーマは、国民を裏切り、内緒で行方をくらました。夫のティモールは妻の失踪を^{いそ}ごまかそうと、15歳のメイド、グローリアを変装させ、“マダム”に仕立てあげた。

だが、グローリアの発言が思わぬ事態を引き起こし…。



小学館
[933マ]